

# 現古絵合わせカルタ

- **現古絵合わせカルタ**は、同志社大学 2021 年度プロジェクト科目「教科書に載っていない古典の魅力を探るくずし字教材の開発と実践」（担当：山田和人）メンバーが発案・開発した、カード型の新しい**くずし字学習教材**です。
- 書写や国語の授業の**補助教材**として学校現場で使用できるのはもちろん、**ゲーム感覚**で、いつでも誰でも気軽に学習ができます。
- くずし字や古典の世界に馴染みがなくても大丈夫！使い方は**簡単**です。さあ、新しい言語に触れるような気持ちで、一緒に始めてみませんか

対象年齢：小学校高学年～

人数：6人程度（1人でも学習できるが、グループ学習を推奨）

到達目標：くずし字や古典の世界に興味を持てるようになること。「多くの字を読めるようになる」ことではなく、「昔の文字に親しむ」ことを重視する。

セット内容（学習者の人数に合わせてコピーすること）：

- ・イラストカード 10 枚
- ・文字カード 10 枚
- ・フェイクカード（文字のみ） 6 枚
- くずし字一覧表（本書付録）

## イラスト & 文字カードと解答

あまびえ  
安満比衣



可川盤  
かつぱ



こ  
ら  
そ

春志  
すし



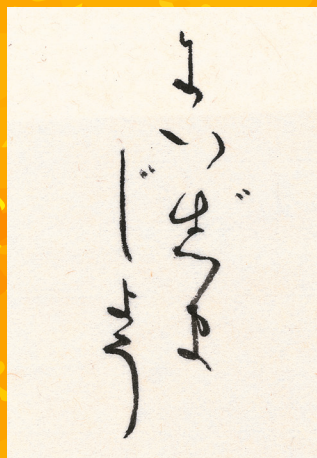
そ  
ら  
そ

となりのけもの  
止那利乃計毛能

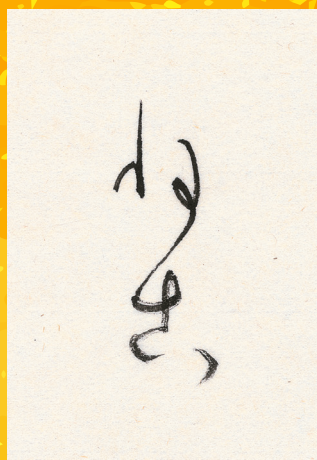


そ  
ら  
そ

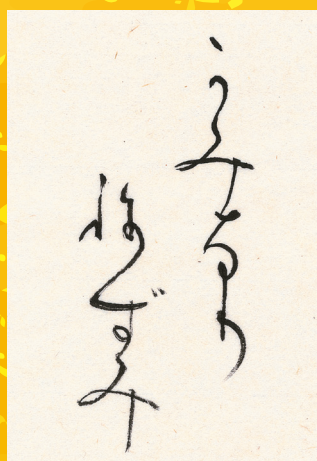
に  
い  
じ  
ま  
じ  
よ  
う  
尔  
以  
志  
末  
之  
与  
宇



ね  
こ  
祢  
古



か  
み  
な  
り  
ね  
ず  
み  
可  
美  
奈  
利  
祢  
寸  
美



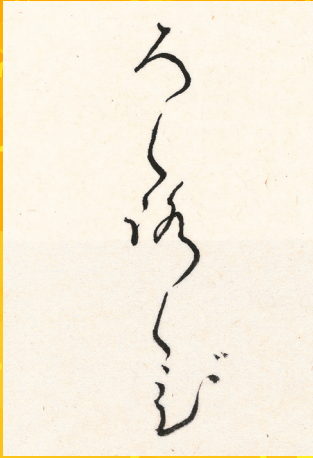
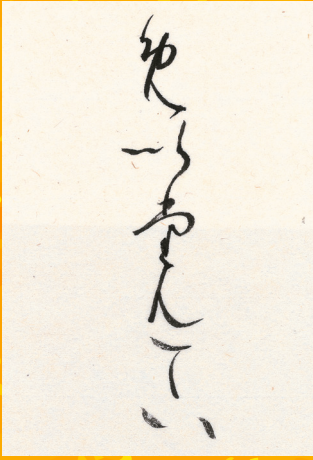
めいたんてい  
免以堂无天以



ろくろくび  
呂久路久飛



てんぐ  
天无具



## フェイクカードと解説

### はこ（箱）

#### 波古

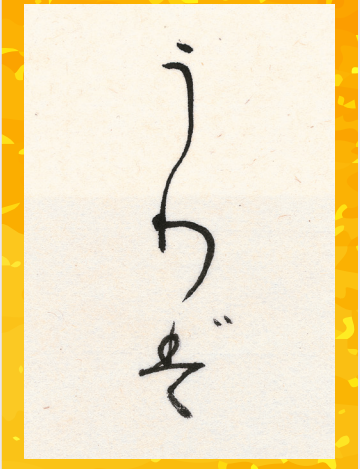
⇒「ねこ」と混同しやすい。「は（波）」の形は、現在使われている「ね（衤）」とよく似ている。2文字目が同じ「こ（古）」であることに気づいてほしい。



### うりば（売り場）

#### 宇利盤


⇒「かっぱ」と混同しやすい。現在使われている「う（宇）」の形は、「か（可）」によく似ている。3文字目が同じ「は（盤）」であることに気づいてほしい。

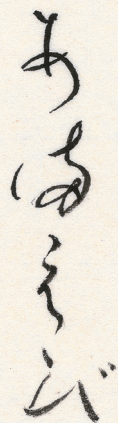


### さんご（珊瑚）

#### 左无己

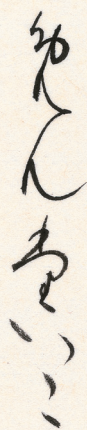
⇒「てんぐ」と混同しやすい。「さ」が「て」に少し似ているが、現在のひらがなの通りで比較的読みやすい。2文字目「ん（无）」が同じであることに気づいてほしい。





### あまえび 安満衣比

⇒「あまびえ」と混同しやすい。文字を入れ替えているだけだが、よく似ている。比較的読みやすい単語であるため、一見難しそうな「ま（満）」に注目し、ぜひ覚えてもらいたい。



### めんたいこ 免无堂以己

⇒「めいたんてい」と混同しやすい。  
1文字目「め（免）」、3文字目「た（堂）」が同じであることに気づいてほしい。



### かみありまつり（神在祭） 可美安利満川利

⇒「かみなりねずみ」と混同しやすい。「かっぱ」「あまびえ」など他のカードでも登場している、頻出文字の「か（可）」「ま（満）」をぜひ覚えてもらいたい。

## 遊び方の例

---

---

(小学6年生、30人クラスで授業の一環として行う場合を想定)

- ①学習者を5人前後のグループに分け、くずし字一覧表を配布する。
- ②グループごとに、フェイクカード5枚と、正しい組み合わせとなる10ペア(文字10枚・イラスト10枚)のカードを配布する。
- ③学習者は、表面を上にして、机の上ですべてのカードをランダムに並べる。
- ④開始の合図とともに、学習者は、くずし字一覧表を見ながら、イラストに合う文字カードを探してペアを作っていく。
- ⑤10～15分程度、様子を見て、ペアを作り終えるグループが増えてきたら、答え合わせをする。「机の上にどのカードが残ったか(フェイクカードは何だったか)」を皆で確認する。
- ⑥学習者に対して、「なぜその単語だと考えたのか」「この2枚のカードは、どの部分と一緒にどの部分が違うのか」「この字の字母は何か」などの問いかけをする。

## 教材の特長

---

---

- ・グループ学習にすることで、学習者同士が話し合い、教え合う環境が生まれるため、**アクティブラーニング**が促される。
- ・**イラストカード**があることで、くずし字に馴染みのない初心者でも、気軽に取り組みやすい。
- ・**フェイクカード**があることで、イラストや文字数から「なんとなく」でペアを作ることを防ぐ。
- ・文字カードには、**同じ字**が繰り返し使われている。このため、「さっきと同じ字だ」という発見や「分かった!」という達成感が生まれやすく、学習意欲の維持が期待できる。また、頻出のくずし字を覚えることができる。
- ・ペアの数やフェイクカードの**枚数を増減**させることで、学習者のレベルに合わせて**難易度を調整**できる。
- ・くずし字やイラストを学習者自身が**書いて**オリジナルカードを作るという使い方もでき、創造活動・表現活動にも繋がるものとなっている。